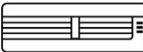





## Q. 家電リサイクル法への対応はどうすればいい？

### A. 家電リサイクル法の対象製品はお施主様の責任で処理して頂きます。

#### ■対象となる家電

|                               |  |                   |
|-------------------------------|--|-------------------|
| エアコン                          |   | ・埋め込み型・天吊り型は対象外   |
| テレビ<br>(ブラウン管式)<br>(液晶・プラズマ式) |   | ・パソコン用のディスプレイは対象外 |
| 冷蔵庫・<br>冷凍庫                   |   | ・ショーケースなどは対象外     |
| 洗濯機・<br>衣類乾燥機                 |  | ・乾燥機能付き換気扇は対象外    |

#### ◇廃家電の処理責任はお客様に

家電リサイクル法の対象となる家電も家具などの残置物と同様に一般廃棄物となるので、工事のついでだからといって、お施主様から処理を引き受けると、無許可で処理をしたことになってしまいます。

エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機などの家電リサイクル法の対象となる廃家電については、家電リサイクル法の手続きなどを説明の上、お施主様に処分して頂きます。

#### ■家電リサイクル法の定める義務

| 3つの立場   |                      | 家電の製造者<br>(製造業者等)  | 家電販売店<br>(小売業者)                     | 排出者<br>(○お施主様、×元請)            |
|---------|----------------------|--------------------|-------------------------------------|-------------------------------|
| 義務      | 資源の有効利用のための努力義務      | ・発生の抑制<br>・処理費用の低減 | ・消費者へ長期使用のための情報提供                   | ・排出の抑制<br>・ <b>対象廃棄物の引き渡し</b> |
|         | 適正処理(リサイクル)のために果たす役割 | ・リサイクルを行う          | ・排出者から製造者への引き渡し(収集運搬)               | ・ <b>リサイクル費用負担</b>            |
| 免除されること |                      | ・対象廃棄物に限り処分業の許可不要  | ・対象廃棄物に限り収集運搬業の許可不要<br>(一般・産業廃棄物共に) | —                             |

#### ◇家電リサイクル法による処理をする場合のお施主様の手続きは2通り

お施主様は家電の種類や製造業者ごとに定められたリサイクル費用を、家電リサイクル券を購入することで負担しなければなりません。①家電小売店へ依頼する、②郵便局等で家電リサイクル券を購入して市区町村へ処分を依頼する、のどちらかで対応して頂きましょう。

詳しくは 一般財団法人家電製品協会 家電リサイクル券センターへ <http://www.rkc.aeha.or.jp/index.html>

#### 今回のポイント

廃家電は、お施主様の責任で家電リサイクル法による処理を行う。